

日出町告示第77号

平成26年第4回日出町議会定例会を次のとおり招集する

平成26年11月25日

日出町長 工藤 義見

- 1 期 日 平成26年12月5日  
2 場 所 日出町議会議事堂
- 

○開会日に応招した議員

岡山 栄蔵君	阿部 真二君
上野 満君	金元 正生君
川西 求一君	岩尾 幸六君
土田 亮治君	池田 淳子君
工藤 健次君	安部 三郎君
森 昭人君	白水 昭義君
佐藤 隆信君	佐藤 二郎君
城 美津夫君	熊谷 健作君

---

○12月8日に応招した議員

---

○12月9日に応招した議員

---

○12月19日に応招した議員

---

○応招しなかった議員

なし

---

---

平成26年 第4回(定例)日出町議会会議録(第1日)

平成26年12月5日(金曜日)

---

議事日程(第1号)

平成26年12月5日 午前10時00分開会

開会、開議の宣告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸般の報告

日程第4 行政報告

日程第5 委員長報告

質疑・討論・採決

日程第6 承認第7号 平成26年度日出町一般会計補正予算(専決第1号)について

日程第7 議案第57号 平成26年度日出町一般会計補正予算(第4号)について

日程第8 議案第58号 平成26年度日出町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)  
について

日程第9 議案第59号 平成26年度日出町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)  
について

日程第10 議案第60号 平成26年度日出町介護保険特別会計補正予算(第2号)につ  
いて

日程第11 議案第61号 平成26年度日出町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)  
について

日程第12 議案第62号 平成26年度日出町水道事業会計補正予算(第1号)について

日程第13 議案第63号 日出町行政手続条例の制定について

日程第14 議案第64号 日出町総合計画審議会条例の制定について

日程第15 議案第65号 平成27年度分の固定資産税の納期の特例に関する条例の制定  
について

日程第16 議案第66号 納入組合廃止に伴う関係条例の整理に関する条例の制定につい  
て

日程第17 議案第67号 職員の給与に関する条例等の一部改正について

日程第18 議案第68号 日出町情報公開条例の一部改正について

- 日程第19 議案第69号 工事委託に関する協定の締結について  
日程第20 諮問第1号 人権擁護委員の候補者の推薦について  
日程第21 諮問第2号 人権擁護委員の候補者の推薦について  
日程第22 同意第6号 固定資産評価審査委員会委員の選任について  
提案理由の説明  
日程第23 議案第69号 工事委託に関する協定の締結について  
質疑・討論・採決  
散会の宣告
- 

#### 本日の会議に付した事件

##### 開会、開議の宣告

- 日程第1 会議録署名議員の指名  
日程第2 会期の決定  
日程第3 諸般の報告  
日程第4 行政報告  
日程第5 委員長報告  
質疑・討論・採決  
日程第6 承認第7号 平成26年度日出町一般会計補正予算（専決第1号）について  
日程第7 議案第57号 平成26年度日出町一般会計補正予算（第4号）について  
日程第8 議案第58号 平成26年度日出町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）  
について  
日程第9 議案第59号 平成26年度日出町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）  
について  
日程第10 議案第60号 平成26年度日出町介護保険特別会計補正予算（第2号）につ  
いて  
日程第11 議案第61号 平成26年度日出町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）  
について  
日程第12 議案第62号 平成26年度日出町水道事業会計補正予算（第1号）について  
日程第13 議案第63号 日出町行政手続条例の制定について  
日程第14 議案第64号 日出町総合計画審議会条例の制定について  
日程第15 議案第65号 平成27年度分の固定資産税の納期の特例に関する条例の制定  
について

日程第16 議案第66号 納入組合廃止に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

日程第17 議案第67号 職員の給与に関する条例等の一部改正について

日程第18 議案第68号 日出町情報公開条例の一部改正について

日程第19 議案第69号 工事委託に関する協定の締結について

日程第20 諮問第1号 人権擁護委員の候補者の推薦について

日程第21 諮問第2号 人権擁護委員の候補者の推薦について

日程第22 同意第6号 固定資産評価審査委員会委員の選任について

提案理由の説明

日程第23 議案第69号 工事委託に関する協定の締結について

質疑・討論・採決

散会の宣告

---

出席議員（15名）

1番	岡山	栄蔵君	2番	阿部	真二君
3番	上野	満君	4番	金元	正生君
5番	川西	求一君	6番	岩尾	幸六君
7番	土田	亮治君	8番	池田	淳子君
9番	工藤	健次君	10番	安部	三郎君
11番	森	昭人君	12番	白水	昭義君
13番	佐藤	隆信君	14番	佐藤	二郎君
16番	熊谷	健作君			

---

欠席議員（1名）

15番 城 美津夫君

---

欠 員（なし）

---

事務局出席職員職氏名

局長 小野裕一郎君 次長 安田加津浩君

---

説明のため出席した者の職氏名

町長	工藤 義見君	副町長	今宮 禮二君
教育長	西野 智行君	会計管理者兼会計課長	阿部 孝君
総務課長	村井 栄一君	財政課長	川野 敏治君
政策推進課長	井川 功一君	契約検査室長	佐藤 義人君
税務課長	脇 英訓君	住民課長	佐藤久美子君
福祉対策課長	原田 秀正君	健康増進課長	高倉 伸介君
生活環境課長	佐藤 寛爾君	商工観光課長	河野 晋一君
農林水産課長	岡野 修二君	都市建設課長	村岡 政廣君
上下水道課長	大塚 一路君	農業委員会事務局長	宮本 洋二君
教育委員会教育総務課長	宇都宮敏樹君	教育委員会学校教育課長	恒川 英志君
生涯学習課長	野上 悟君	監査事務局長	岩尾 修一君
総務課長補佐	藤本 英示君	財政課長補佐	帯刀 志朗君

---

午前10時02分開会

○議長（熊谷 健作君） 皆さん、おはようございます。平成26年第4回日出町議会定例会を開催いたします。

今期定例会に提案されています議案につきましては、後ほど説明がありますが、承認1件、議案13件、諮問2件、同意1件が提出されています。議員各位には慎重に御審議を賜り、適切な議決をいただくとともに、議会運営全般にわたり格別の御配慮と御協力をお願いいたします。

---

**開会、開議の宣告**

○議長（熊谷 健作君） ただいまの出席議員は15名です。定足数に達していますので、平成26年第4回日出町議会定例会を開会します。

これより、本日の会議を開きます。

---

**日程第1. 会議録署名議員の指名**

○議長（熊谷 健作君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

今期定例会の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定により、6番、岩尾幸六君、10番、安部三郎君を指名します。

---

**日程第2. 会期の決定**

○議長（熊谷 健作君） 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。本定例会の会期は、先月 25 日の議会運営委員会において、本日から 12 月 19 日までの 15 日間という案を作成しましたが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（熊谷 健作君） 異議なしと認めます。したがって、本定例会の会期は、本日から 12 月 19 日までの 15 日間に決定しました。

---

### 日程第 3. 諸般の報告

○議長（熊谷 健作君） 日程第 3、諸般の報告を行います。

大分県町村議会議長会主催の研修会について報告いたします。

去る 11 月 4 日、日出町中央公民館ホールにおいて行われました議員研修会は、立命館大学教授の平岡和久氏を講師に、「道州制、地方創生の動向と町村の課題」と題して、道州制への動きの主な経緯や今後の問題点等を話していただきました。主に、道州制が、現状ではふさわしくないという趣旨であり、議員皆さんにとって、それぞれ課題として受けとめられたことと思われま

す。

次に、11 月 12 日に行われました、第 58 回町村議会議長全国大会が渋谷の NHK ホールにおいて開催され、県内の議長とともに出席しましたので、その概要について報告いたします。

大会は、全国の関係者約 1,700 人が出席する中、「町村のさらなる振興発展を目指して」をメインテーマに開幕し、国歌斉唱の後、海外出張中の安倍晋三内閣総理大臣からのメッセージが披露され、続いて、来賓の赤松広隆衆議院副議長、山崎正昭参議院議長、高市早苗総務大臣、石破茂地方創生担当大臣ほか、多数の御祝辞をいただきました。

来賓祝辞の後、主催者を代表して、蓬清二会長の挨拶を受け、議事に入り、東日本大震災からの復興と大規模災害対策の確立に関する特別決議を初めとする特別決議 5 件、一般要望 24 件、各地区要望 9 件などが提案されました。決議、要望は満場一致で採択され、大会を終了いたしました。

大会終了後、東京大学の大森彌名誉教授から「日本の将来―農山村と都市の共生」と題して特別講演があり、充実した大会でありました。

次に、平成 26 年第 2 回別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会定例会の概要について、同組合議会議員、白水昭義君に報告をお願いいたします。12 番。

○議員（12 番 白水 昭義君） 平成 26 年第 2 回別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会定例会について、その概要を御報告いたします。

別府市議会議事堂におきまして、午前 10 時より本会議が開催され、今期上程されました議案は、議第 13 号平成 25 年度別杵速見地域広域市町村圏事務組合一般会計及び特別会計歳入歳出

決算の認定についての1議案のみでございます。

決算の内容については、一般会計では、予算現額12億500万円に対して、歳入決算額は11億6,705万6,606円で、歳出決算額は11億6,705万6,606円となっており、歳入歳出差し引き額はゼロ円であり、翌年度へ繰り越す財源はないため実質収支額はゼロ円となっております。

秋草葬祭場事業特別会計については、予算現額は8,070万円に対して、歳入決算額は7,866万8,893円で、歳出決算額は7,866万8,893円となっており、歳入歳出差引額はゼロ円であり、翌年度の繰越財源はないため実質収支額はゼロ円であります。

藤ヶ谷清掃センター事業特別会計については、予算現額51億9,191万3千円に対しまして、歳入決算額は51億2,788万4,046円で、歳出決算額は51億2,788万4,046円となっており、歳入歳出差し引き額はゼロ円で、翌年度へ繰り越す財源はないため実質収支額はゼロ円であります。

介護認定審査会事業特別会計については、予算現額2,860万円に対して、歳入決算額は2,717万2,264円で、歳出決算額は2,717万2,264円となっており、歳入歳出差し引き額はゼロであり、翌年度への繰り越す財源はないため実質収支額はゼロ円となっております。

上程議案は、福祉、環境衛生の各委員会において審査を経て、賛成多数により原案のとおり認定されました。

以上、平成26年第2回別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会定例会の報告といたします。

○議長（熊谷 健作君） 次に、平成26年第2回杵築速見消防組合議会定例会の概要について、同組合副議長、安部三郎君に報告をお願いします。10番。

○議員（10番 安部 三郎君） 平成26年11月28日、杵築速見消防組合議会の第2回定例会が、議員全員出席のもと、杵築市議会議事堂において開催されましたので、その概要を御報告いたします。

はじめに、議案第7号平成25年度杵築速見消防組合歳入歳出決算についてであります。

歳入総額10億9,895万5,595円に対しまして、歳出総額10億2,048万3,940円であり、翌年度へ繰り越すべき財源3,131万5千円を差し引いた4,715万6,655円が実質収支額となります。慎重審議の結果、全員一致で可決いたしました。

次に、議案第8号平成26年度杵築速見消防組合補正予算（第1号）については、既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ2,715万6千円を追加し、予算の総額を8億2,526万6千円とするものです。

補正の主なものは、歳入では、消防費負担金を2千万円の減額、前年度繰越金4,715万6千円の計上で、歳出では、退職手当積立基金への積立金1,670万円の計上等で、慎重審議

の結果、全員一致で可決いたしました。

次に、議案第9号杵築速見消防組合火災予防条例の一部改正については、平成25年8月に京都府で発生した福知山花火大会火災を踏まえ、対象火器器具等の取り扱いに関する規定の整備のほか、大規模な催しを主催する者に対して、防火担当者の選任、火災予防上、必要な業務計画の作成等を義務づけるために、所要の規定の整備を行うものであります。慎重審議の結果、全員一致で可決いたしました。

平成26年度第2回杵築速見消防組合議会定例会の御報告といたします。

○議長（熊谷 健作君） 次に、平成26年第2回杵築速見環境浄化組合議会定例会の概要について、同組合副議長、工藤健次君に報告をお願いします。9番。

○議員（9番 工藤 健次君） 平成26年第2回杵築速見環境浄化組合議会定例会が12月1日、日出町議会議事堂で開催されましたので、その概要を御報告申し上げます。

本定例会に上程されました案件は、議案1件、認定1件であります。

まず、議案第4号平成26年度杵築速見環境浄化組合会計補正予算（第1号）についてであります。

補正額は473万4千円を増額し、歳入歳出予算の総額を2億1,453万4千円とするものであります。この補正は、施設機器等の点検修理が主なものであります。

また、債務負担行為として、平成27年度から計画しております杵築速見環境浄化センター運転管理業務の民間委託料3年間の限度額9千万円を定めるものであります。

次に、認定第1号平成25年度杵築速見環境浄化組合会計決算の認定についてであります。

歳入決算額7億1,541万8,349円に対し、歳出決算額7億1,068万2,617円であります。歳入決算額から歳出決算額を差し引いた実質収支額は473万5,732円で、その金額を翌年度に繰り越すものであります。

また、監査委員から予算執行、決算経理とも適切に処理されている旨の審査報告がありました。

以上、上程されました議案1件、認定1件につきましては、審議の結果、全員一致で原案のとおり可決いたしました。

---

#### 日程第4. 行政報告

○議長（熊谷 健作君） 日程第4、行政報告を行います。町長、工藤義見君。町長。

○町長（工藤 義見君） おはようございます。本日、平成26年第4回日出町議会定例会を開催するに当たりまして、御通知申し上げましたところ、議員の皆様には何かと御多忙のところ御出席を賜り、御審議をいただきますことに対しまして、厚く御礼を申し上げたいと思います。

それでは、行政報告を申し上げます。



まず、9月13日から15日にかけて実施されました第67回大分県民体育大会についてであります。

この大会において、各種競技で日出町の代表選手が健闘し、総合8位でC部優勝を果たしました。これで、速見郡は、1年でのB部復帰を果たすことになりました。

また、議員皆様のソフトボール競技でも見事優勝を果たされ、速見郡のC部優勝に花を添えていただきました。来年のB部でのさらなる活躍が期待されるところであります。

次に、「オラショ巡礼の道」お披露目ウォーキング大会開催についてであります。

9月20日、21日の両日、日出町と杵築、国東両市のキリスト教史跡などをめぐり、オラショ巡礼の道ウォーキングコース創設記念ウォーキング大会が開催されました。県内外から130名の方々に参加していただき、にぎやかな大会となりました。

このウォーキングコースは、キリスト教の史跡が多く残る3市町で、それぞれをつなぐことで地域の魅力を発信しようと、共同して、総延長11.1キロコースを創設したものであります。

今後、さらに多くの人たちが、この巡礼の道をたどることにより、日出町の歴史・文化に触れることができ、これまで以上に、日出町に好感を持っていただけるのではないかというふうに思っております。

次に、的山荘の国重要文化財指定についてであります。9月18日に的山荘——旧成清家日出別邸であります——日出町で初の国の重要文化財として指定されました。これを記念しまして、11月3日、文化の日に、町功労者表彰の受賞者を初め関係者200名をお招きして、指定報告会を開催いたしました。

報告会では、文化財の価値についての講演やオカリナや琴の演奏会が行われ、多くの方々と喜びをともにすることができました。また、11月21日には、庭園を登録記念物に指定するよう答申がなされました。

今後、この貴重な財産を後世に伝えていくために努力を重ねていきたいと考えております。

次に、深見邸記念館のオープンについてであります。

昨年、御寄附をいただいた深見邸が10月1日、深見記念館としてオープンをいたしました。隣接する二の丸館と一体的に利用することが可能になり、歴史・文化に関する展示や多くの人が集い交流する場として、日出町に新たなにぎわいの場が誕生したと。心から喜んでいるところであります。

ここに改めて、深見家そして関係者の皆様に厚く御礼を申し上げたいと思います。

次に、暘谷駅周辺複合商業施設の起工式についてであります。

10月23日、JR暘谷駅東側に来春オープン予定の複合商業施設B i V i 日出の起工式が行われました。関係者多数の参列のもとに神事がとり行われ、建設中の安全を祈願いたしました。

この施設の完成と引き続く暘谷駅周辺の整備により、多くの人々が訪れ、交流する町の新たな拠点となることを大いに期待しているところであります。

次に、全国町村長大会についてであります。

11月19日に東京代々木のNHKホールにおいて、全国町村長大会が開催されましたので、これに参加いたしました。本大会は、全国928の町村長と都道府県町村会関係者の皆さん、そして来賓の安倍晋三内閣総理大臣など、約1,300人の方々が出席して開催されました。

はじめに、安倍総理から、元気で豊かな地方の創生が最重要課題であり、地域の発想や創意工夫を生かし、個性と魅力あふれる取り組みを国が後押しすることに全力を尽くすという決意と御挨拶がございました。

次に、藤原忠彦会長が挨拶に立ち、町村において、人口減少の克服、地方創生の推進は待ったなしの課題であり、直面する困難な課題に積極果敢に取り組んでいこうというふうに皆さんに呼びかけ、参加者に訴えたところであります。

議案では、町村行財政をめぐる、諸問題解決に向けた9項目の決議案を原案どおり決定し、地方創生の推進に関する特別決議案や大会要望についても、満場一致で決議し、閉会いたしました。

本大会は、町村の価値や果たすべき役割の重要性を、参加者全員が確信することができた意義ある大会であったと思っております。

なお、大会終了後、4町村長とともに、事務局とともに、議員会館等をお訪ねいたしまして、陳情、要望事項を皆様方にいたしましたところであります。

次に、日出町と宮城県亶理町の友好都市締結式についてであります。

11月27日に別府湾ロイヤルホテルにおいて、東日本大震災発生以来、日出町が支援しております宮城県亶理町と友好都市の協定を締結いたしました。亶理町からは、齋藤貞町長を初め町議会や農協、住民自治組織の代表の方々など25名が本町においでになり、日出町からも関係者多数が参加して、盛会のうちに締結式が行われたところであります。

齋藤町長からの御挨拶では、支援への感謝とともに、交流によって築かれた信頼、きずなを大切に、両町の発展に期待したいと御挨拶がありました。

今後、お互いの町にそれぞれ足を運び、理解を深めながら、さらに親睦、交流を深めていきたいというふうに考えるところでございます。

以上、甚だ簡単であります。行政報告とさせていただきます。

○議長（熊谷 健作君） 行政報告が終わりました。

地方自治法第121条の規定により、町長ほか関係職員の出席を求めましたので、御報告します。

## 日程第5. 委員長報告

○議長（熊谷 健作君） 日程第5、委員長報告を行います。

平成26年第3回定例会において、閉会中の審査に付された所管事務調査などの結果について報告を求めます。総務産業常任委員会委員長 白水昭義君。12番。

○総務産業常任委員長（白水 昭義君） 総務産業常任委員会の閉会中の審査について御報告申し上げます。

まず、総務課より、消防団の備品購入について報告がございました。消防積載車4台、消防ポンプ3台の更新が終了したとのことであります。また、藤原西部地区に防火水槽1基を設置する予定になっているとのことであります。

平成27年度の職員の採用についての説明がございました。今年度は、3名の採用予定だということでもあります。

次に、政策推進課より、町内のメガソーラー計画予定地4カ所について説明がありました。そのうち2カ所については、平成27年度に着工予定とのことであります。

次に、税務課からは、納税貯蓄組合制度の廃止について説明を受けました。個人情報保護、納税組合員の高齢化、納税額に対する一律助成金支給の違法性等により、27年度廃止に向けて準備をしているとのことであります。

次に、農林水産課からは、今年度の農地災害の状況と第27回ひじ産業まつりについて説明を受けました。

続いて、上下水道課からは、水道事業の一元化に伴う簡易水道事業の上水道事業への統合について説明がございました。なお、この件につきましては、12月から地元説明会を実施することです。

最後に、農業委員会からは、太陽光発電設備に対する九州電力の考え方、農地転用申請事務等についての説明がありました。

以上が所管各課からの報告であります。

次に、町民との意見交換会についての報告をいたします。

議会発足以来初めての取り組みであります、町民との意見交換会は、10月28日に日出町中央公民館、29日に豊岡地区公民館で実施いたしました。

総務産業常任委員会は、防災、観光、産業の3つのテーマで開催いたしました。さまざまな意見要望、そして辛辣なる意見も出されましたが、今後もぜひ継続してほしいという要望もいただきました。詳細につきましては、議会報等で詳しく報告されるものと思います。

終わりに、当委員会の行政視察研修につきまして、御報告いたします。

去る11月6日から8日までの日程で、東京都多摩市の観光振興の取り組みについて、また、

埼玉県春日部市へ、定住人口の増加策についての研修のため訪問いたしました。

詳細につきましては、お手元の研修報告書をごらんいただきたいと思います。

以上をもちまして、総務産業常任委員会の報告といたします。

○議長（熊谷 健作君） 次に、福祉文教常任委員会委員長 池田淳子君。8番。

○福祉文教常任委員長（池田 淳子君） 閉会中の福祉文教常任委員会の所管事務調査の報告をいたします。

まず、議会改革の一環として行うこととなった町民との意見交換会についてです。

去る10月15日と10月27日に委員全員出席のもと、意見交換会の開催準備のための委員会を開会し、役割分担の確認と資料の準備を行いました。そして、介護保険、学校給食センター、新図書館と3つのテーマを掲げ、10月28日に大神地区公民館、29日に藤原地区公民館、30日に川崎地区公民館におきまして、町民との意見交換会を開催いたしました。内容につきましては、議会改革特別委員会により報告があるかと思えます。

また、11月10日、委員全員出席のもと、町長を初め教育長ほか所管の課長の出席を求め、子ども・子育て支援新制度への取り組み、並びに各所管各課の事務調査を行いました。

子ども・子育て新支援制度への取り組みについては、福祉対策課と教育総務課より資料に沿って説明を受けました。

このたびの新制度は、保育と教育を一体的に行い、また、都市部の待機児童解消や過疎部の子育て支援の充実をさせるもので、支援の量の拡充と質の向上を目指し、必要となる全ての家庭が利用できる支援となります。

従来の幼稚園、保育所に加えて、認定こども園の普及を図り、また、地域型保育を新設するとともに、放課後児童クラブの充実も図ります。全ての子育て家庭のために、充実した支援が期待されるところでございます。

施設等の利用を希望する場合は、保護者の方に利用のための認定を受けていただき、3つの区分の認定に応じて、利用できる施設が決定されます。

保育料については、保護者の所得に応じた支払いが基本となります。

委員からは、保育料が高くなる人がいる、また、保育時間はどうなるのかなど、るる意見や質問が出されました。

この新制度は、平成27年の春に本格スタートいたします。正直、私たちも完全に理解ができたとはいいがたい部分もありますが、さらに研さんを深めていきたいと思っております。

各課の事務調査では、学校教育課から、平成26年度全国体力・運動能力調査結果について、小学校1年生から中学校3年生までの男女、8種目の種目別に、大分県、全国との平均と比較した表に基づき説明を受けました。ほとんどの種目で、県平均を上回っておりましたが、握力とシ

ャトルランについては、やや下回る学年がありました。

これは、理由の一つとして、車での送迎による登下校がふえていることから、運動量の減少が考えられます。各学校へは、車での送迎があったとしても、せめて1キロ圏内で車を降りて歩きましょうという打ち出しをしているとのことでした。

また、いじめ認知件数が増加傾向にあるのは、いじめの定義の変遷によるものと、認知件数が多いことは、悪いことという風潮があったため、見て見ぬふりをしたり、隠蔽したりという事案が発生しておりました。最近では、解決に向けて取り組むことが大切という認識から、認知件数が大幅にふえていると思われるとのことでした。

生涯学習課からは、小学校5年生を対象とした、こころのプロジェクト「夢の教室」について報告を受けました。町内各小学校5年生290人を対象に、スポーツ界で活躍した選手を招き、夢を持つこと、その夢に向かって努力することの大切さ、仲間と協力することの大切さなど、講義と実技を通じて子供たちに伝えられたそうです。

健康増進課から、税率改正による影響額について、資料をもとに報告を受けました。

今回の税率改正で最も影響を受けたのが、25年度に2割軽減の対象だった方で、26年度は5割軽減となった方がふえておりました。

また、第2回の介護保険策定委員会が開かれ、第6期介護保険の課題や骨子案について協議をしたとのことでした。

委員から、今後の計画で保険料は上がるのかという質問や、第6期の策定において、今回の研修内容を十分に生かしてほしいという意見がありました。

続きまして、当委員会は、10月8日から10日まで埼玉県和光市へ、地域包括ケアシステムの取り組みについて、千葉県成田市へ、小中連携一貫教育の取り組みについて、千葉県浦安市へ、学校給食センターの運営について、行政視察研修を行いましたので、概要を御報告申し上げます。お手元に資料を配付してありますので、そちらも御参照ください。

和光市は、埼玉県の南部に位置し、面積は11.04平方キロメートル、推計人口は、平成26年8月1日現在で8万2,542人を数えます。戦後、急速に東京のベッドタウンとして人口がふえ、現在は、東京都特別区部への通勤率は51.4%となっています。

団塊の世代が75歳以上となる2025年をめどに、高齢者が住みなれた地域で医療や介護、生活支援など、必要なサービスを一体的に受けられるための地域包括ケアシステムの構築が重要となります。和光市では、的確なマネジメントを行い、ニーズ調査から地域の課題や必要となるサービスを把握し、分析が行われています。

そうした持続可能な取り組みを27年度からの第6期介護保険事業計画にも反映させなくてはなりません。

地域包括ケアシステムにおいては、介護保険サービス、医療保険サービスのみならず、見守りなど、さまざまな生活支援や住居の保障、低所得者への支援など、きめ細やかな支援が切れ目なく提供されることが必要です。

2025年の高齢化社会を踏まえると、高齢者ケアのニーズの増大、単独世帯の増大、認知症を有する者の増大が想定される中、地域において包括的、継続的につないでいく仕組みが必要となります。

和光市は高齢化率が高くなる中、介護予防に力を入れることにより、80歳から84歳の介護認定率が、全国26.9%であるのに対し、18.8%と8ポイントも下回り、大きな成果を上げております。

また、要支援1・2の認定を受けた方の約4割の方が、介護保険から卒業しています。その背景には、社会保障改革が目指す、全ての方がより受益を実感できる社会保障制度へのテーマを的確に捉えるとともに、高齢者個別の課題を把握し、介護保険事業計画などへ反映させ、さらには、あらゆる角度から地域包括ケアシステムのあり方を検証していることにあります。

また、介護保険を卒業した後の受け皿が確立されていることにより、再度、要支援状態にならないためのケアが充実しています。

さらには、どの圏域に、どのようなニーズを持った高齢者が、どの程度生活しているのか調査を行い、地域の課題や必要となるサービスの把握、分析を行い、介護保険事業計画に反映させていました。

日出町は、今期の介護保険料が5,774円と県内でも3番目に高い水準となっており、第6期の保険料はどのくらいになるのか、注視するところです。2025年に向け、介護予防を中心に、在宅介護と在宅医療の連携、地域密着型サービスなど、地域が一体となったサービスの充実が必要となることから、和光市の取り組みは大変参考になりました。

次に、小中連携一貫教育の取り組みについて視察を行った成田市は、千葉県の北部中央に位置し、推計人口13万726人を数えます。成田空港や成田山新勝寺などで知られており、業務核都市に指定されております。1978年の空港開港と高度経済成長とともに、市域の経済、産業構造に多大な変化がもたらされ、農業人口が減少した反面、空港関連のサービス業など第3次産業が生まれ、新たな雇用が創出しました。

観光面では、かつてほどの活況はなくなりつつありますが、成田山新勝寺では、正月3が日だけで270万人以上、年間約1千万人も参拝客でにぎわうとのことでもあります。

成田市は、児童生徒の成長を義務教育9年間で捉え、柔軟な教育の課程の中で、中一ギャップの解消や不登校、いじめ問題の早期発見に効果があるとされる、小中連携一貫教育に取り組んでいます。

成田市の下総地区4つの小学校を統合し、成田市立下総小学校を創立し、下総中学校の敷地内に小学校校舎を建設して、本年4月、小中一貫教育の下総みどり学園としてスタートいたしました。

下総みどり学園の設立に当たり、下総地区住民及び保護者に対して説明を重ね、連携推進委員会を立ち上げ、9年間子供たちとどうかかわるか、どのように見守るか、学校行事や学年行事などをどのように開催するかなど、部会ごとに深く議論を重ねたそうです。

1年生から4年生までを前期、5年生から7年生までを中期、8年生から9年生までを後期と位置づけ、段階に応じた学力の定着とスムーズな学年移行ができるとともに、授業改善や教職員の指導力向上の契機となり、教職員の意識改革が進むものと思われまます。

一貫教育の条件の一つに、学校の規模が過大にならないこととあり、日出町で該当する規模となれば、大神小中学校が考えられるかと思いますが、学校建設に係る予算や区域の設定などが検討課題となるだろうと考えられます。保護者や地域の方の理解を得ながら、十分な検討が必要であると感じました。

次に、学校給食センターの運営について、千葉県浦安市へ視察を行いました。浦安市は、市内にオリエンタルランドが経営する東京ディズニーリゾートがあることで全国的に知られております。

また、近年では、財政力指数において、常に上位に位置し、非常に豊かな市としても有名ですが、市の財政がオリエンタルランドに強く依存しているというわけではないそうです。住宅地の造成、大規模遊園地の誘致、鉄鋼流通基地の形成を3本柱として、計画的な開発を進め、各部門において顕著な成功をおさめており、バランスのよい財源を持っていると言えます。

浦安市の旧学校給食センターは、昭和51年9月に竣工、老朽化が進み、衛生管理を強化していく上で施設設備に問題が生じてきたため、問題解決のため、新施設整備を行いました。効率的かつ効果的な整備事業とするため、民間の資金、経営能力及び技術能力を活用したPFI方式を活用しており、また、施設維持管理を特定目的会社にしております。給食提供数1万3千食を2系列で運用していました。

日出町の学校給食センターは、調理部門と配送部門を民間委託したとはいえ、施設老朽化による衛生管理基準やアレルギー食への対応への課題を抱えており、新施設建設が望まれているところでございます。予算規模は大きく違いますが、日出町における給食センター建設が喫緊の課題であることから、これらの取り組みは、コスト削減の観点から大変参考になるものでありました。

以上、閉会中の福祉文教常任委員会の御報告といたします。

○議長（熊谷 健作君） 次に、議会改革特別委員会委員長 工藤健次君。9番。

○議会改革特別委員長（工藤 健次君） 議会改革特別委員会は、閉会中に町民との意見交換会を

協議事項の優先議題として、3回の委員会を開催しましたので、その概要を御報告いたします。

第7回委員会は、10月7日、町民との意見交換会の資料関係等全般についての協議を行いました。

また、議会改革のアンケートの中の大規模災害の対応で、議員の防災組織、それから勉強会の実施の2件について協議を行いました。

日出町議会における災害発生時の対応要領案を作成するとともに、外部講師を招聘して、議員全員で年1回勉強会を実施することなどを決めました。2件とも、議員全員協議会に報告をして、承認をされたところです。

第8回委員会は、10月23日に町民との意見交換会の資料関係等全般について、最終確認を行い、意見交換会に臨むことにしました。

第9回委員会は、意見交換会後の11月7日に町民との意見交換会の反省と取りまとめについて協議を行いました。開催の告知の方法や意見交換会のやり方などが今後の課題などの意見が出たので、次回開催の検討事項としました。

なお、意見交換会の意見の詳細については、議会報で町民の皆様にお知らせすることにし、各課にも報告をいたしました。また、意見交換会の参加者からのアンケートについては、今後の開催についての検討事項の参考とすることとしました。

議会改革の一環として開催した、今回の町民との意見交換会については、計画どおり、総務産業常任委員会が10月の28日、日出地区、参加者14名、29日、豊岡地区18名、福祉文教常任委員会が28日、大神地区10名、29日、藤原地区27名、30日、川崎地区8名の結果でした。

意見として、総務産業常任委員会の防災関係は、豊岡公民館は、ハザードマップでは土石流の流れてくる対象地域になっているが、ハザードマップをつくりかえたほうがいいのでは。それから観光関係は、とくとく商品券は限定券で使い勝手が悪い、それから、大神にもたくさん見どころがあり、ウォーキングのミニコースをつくったらどうかなど。産業関係は、1次産業についての考え方と観光で農業と結びつける施策はないかななどの意見がありました。

福祉文教常任委員会の介護保険関係は、介護保険料は年金から差し引かれるが、年金生活者は非常に苦難をしている。町として、国や県に見直しを要請してほしい。介護保険や地域包括ケアシステムなどの詳しい資料は役場にあるか。給食センター関係は、給食費の未納に関して、未納者を減少させるべき対応をお願いしたい。現在のセンターは、豪雨時に浸水などの危険性が大きいので早期に移転が望ましい。図書館関係は、新図書館の借用費は20年で12億は妥当な金額か、萬里図書館の跡地利用はなど、数多くの御意見がありました。

また、議会関係についても、本会議の傍聴は可能だが、各委員会の傍聴は可能か。議会として、



政策の提言を、次の議会で目に見える形で実行していただきたい。視察などの際の町民への報告はあるのか、などの貴重な御意見がありました。

議会としては、初めての今回の取り組みであり、このような数多くの御意見をいただきましたので、今後の議会改革と議会活動に生かしていきたいと考えています。

以上、甚だ簡単ですが、議会改革特別委員会の報告を終わります。

○議長（熊谷 健作君） 次に、議会報編集特別委員会委員長 森昭人君。11番。

○議会報編集特別委員長（森 昭人君） それでは、議会報編集特別委員会の報告を申し上げます。

当委員会は、閉会中の10月15日、20日の2回、委員会を開催をいたしまして、議題だより第98号の編集を行い、10月30日に全戸配布をいたしたところであります。

また、10月21日、22日に全国町村議会議長会主催の第81回町村議会広報研修会に委員全員で参加をいたしましたので、その概要を報告いたします。

全国の町村議会から140町村、600人を超える広報編集委員、そして議会事務局職員が参加をし、開催をされました。

初日は、3名の講師を迎えまして、「伝える広報から伝わる広報へ」「広報紙面デザインの基礎知識」、そして「写真の見方、考え方」について講演をいただきました。

2日目は、広報編集コンサルタントの芳野政明という著名な講師の方を迎えまして、高知県田野町を初めとする全国9町の議会だよりのクリニックで、しっかりと勉強をしてまいりました。

クリニックでは、議会審議や議会活動の情報が紙面を構成し、透明度の高い広報紙になっているか、行政の今、議会の焦点や課題が住民目線で伝えられているか、記事は正確で簡潔でわかりやすいか、見出しは具体的で的確かなど、懇切丁寧に講評をいただきました。

この研修を糧に、より一層、住民の皆さんに親しまれる議会だよりの編集に委員一同取り組んでまいりたいと思っております。

なお、詳細につきましては、お手元にお配りをしております研修報告をごらんになっていただきたいと思っております。

以上、甚だ簡単であります。議会報編集特別委員会の報告を終わります。

○議長（熊谷 健作君） 以上で委員長報告を終わります。

---

### 質疑・討論・採決

○議長（熊谷 健作君） これより、委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（熊谷 健作君） なければ、これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（熊谷 健作君） なければ、これで討論を終わります。

お諮りします。ただいま報告のありました各常任委員会及び特別委員会における審査及び調査の件は、委員長の報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（熊谷 健作君） 異議なしと認めます。したがって、各常任委員会、特別委員会における審査及び調査等の件は、委員長の報告のとおり決定しました。

---

日程第6. 承認第7号

日程第7. 議案第57号

日程第8. 議案第58号

日程第9. 議案第59号

日程第10. 議案第60号

日程第11. 議案第61号

日程第12. 議案第62号

日程第13. 議案第63号

日程第14. 議案第64号

日程第15. 議案第65号

日程第16. 議案第66号

日程第17. 議案第67号

日程第18. 議案第68号

日程第19. 議案第69号

日程第20. 諮問第1号

日程第21. 諮問第2号

日程第22. 同意第6号

提案理由の説明

○議長（熊谷 健作君） 日程第6、承認第7号平成26年度日出町一般会計補正予算（専決第1号）についてから、日程第22、同意第6号固定資産評価審査委員会委員の選任についての承認1件、議案13件、諮問2件、同意1件を一括して上程し、議題とします。

提出者から提案理由の説明を求めます。町長、工藤義見君。町長。

○町長（工藤 義見君） 提案理由の御説明を申し上げます。

本定例会に御提案申し上げますのは、承認1件、議案13件、諮問2件、同意1件であります。以下、順次その概要を御説明申し上げます。

承認第7号平成26年度日出町一般会計補正予算（専決第1号）についてであります。

補正しました内容は、12月14日に衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査が行われることとなりましたことから、その経費として、1,142万4千円を専決処分いたしましたので、地方自治法第179条第3項の規定により、今定例会で御承認をお願いするものであります。

議案第57号平成26年度日出町一般会計補正予算（第4号）についてであります。

補正します額は1億4,330万5千円で、補正後の予算総額は98億458万6千円となります。

歳出予算の主なものといたしましては、利用者の増加やサービスの充実に対応するため、障がい者自立支援給付費や重度心身障がい者医療費給付費を追加計上しております。

災害復旧費では、台風19号により被害を受けた農地及び農業用施設の復旧費を計上しております。そのほかの費目におきましても、決算見込みにより、必要額を追加計上しております。

また、債務負担行為としまして、株式会社大分県畜産公社の新施設整備費補助金などを計上しております。

次に、議案第58号平成26年度日出町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）から議案第61号平成26年度日出町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）までにつきましては、制度改正に伴うものや、平成25年度実績に基づく返納金等で、その補正額は4,925万8千円となっております。

次に、議案第62号平成26年度日出町水道事業会計補正予算（第1号）につきましては、収益的収支におきまして、会計制度改正に伴う賞与引当金繰入額等を追加計上し、予備費の減額により財源調整しております。

次に、議案第63号行政手続条例の制定についてであります。

公正性の向上等を目的に改正された行政手続法の趣旨にのっとり、条例を制定するものであります。

次に、議案第64号日出町総合計画審議会条例の制定についてであります。

本町の計画的なまちづくりの指針である日出町総合計画の調査及び審議を行う審議会を設置するため条例を制定するものであります。

次に、議案第65号平成27年度分の固定資産税の納期の特例に関する条例の制定についてであります。

3年に一度の固定資産評価がえ事務に対応するため、固定資産税の第1期分の納期を変更する

ため条例を制定するものであります。

次に、議案第66号納入組合廃止に伴う関係条例の整理に関する条例の制定についてであります。

納入組合を廃止するため、関係条例を整備するものであります。

次に、議案第67号職員の給与に関する条例等の一部改正についてであります。

人事院勧告に基づき、職員の給料及び勤勉手当並びに特別職及び教育長の期末手当の支給を改定するため、関係条例を整備するものであります。

次に、議案第68号日出町情報公開条例の一部改正についてであります。

独立行政法人通則法の改正に伴い、条例を整備するものであります。

次に、議案第69号工事委託費に関する協定の締結についてであります。

日豊本線暘谷駅構内自由通路新設工事委託に関する協定を締結する必要があるため、議会の議決を求めるものであります。

次に、諮問第1号人権擁護委員の候補者の推薦についてであります。

現在、同委員として就任していただいております芝尾宏氏の任期が、平成27年3月31日で満了するため、後任者として、同氏を推薦するもので、議会の皆様の御意見を求めるものであります。

次に、諮問第2号人権擁護委員の候補者の推薦についてであります。

現在、委員として就任していただいております青井和正氏の任期が、平成27年3月31日で満了するため、後任者として、河野佐智子氏を推薦したいので、議会の皆様の御意見を求めるものであります。

次に、同意第6号固定資産評価審査委員会委員の選任についてであります。

同委員として就任していただいております工藤和弘氏が死亡し、欠員となったため、後任者として、岩洋海氏を選任したいので、議会の皆様の同意を求めるものであります。

以上、甚だ簡単であります。本定例会に御提案申し上げます議案につきまして、御説明申し上げます。何とぞ、慎重な御審議を賜りまして、御賛同くださいますようお願い申し上げます。

○議長（熊谷 健作君） 提案理由の説明が終わりました。

---

### 日程第23. 議案第69号

○議長（熊谷 健作君） お諮りします。議案第69号工事委託に関する協定の締結については、先月25日開催の議会運営委員会において、委員会付託を省略して、本日、採決することに決定しました。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（熊谷 健作君） 異議なしと認めます。したがって、委員会付託を省略して、日程第23、議案第69号工事委託に関する協定の締結についてを議題とし、本日、採決することに決定しました。

お諮りします。ここでしばらく休憩したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（熊谷 健作君） 異議なしと認めます。したがって、しばらく休憩をします。会議室にお集まりください。

午前11時05分休憩

.....

午前11時15分再開

○議長（熊谷 健作君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

----- . ----- . -----

#### 質疑・討論・採決

○議長（熊谷 健作君） これより議案質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（熊谷 健作君） なければ、これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（熊谷 健作君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これより採決を行います。

議案第69号工事委託に関する協定の締結についてを採決します。この採決は、挙手により行います。本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手を願います。

〔賛成者挙手〕

○議長（熊谷 健作君） 挙手多数です。したがって、議案第69号工事委託に関する協定の締結については、原案のとおり可決されました。

----- . ----- . -----

#### 散会の宣告

○議長（熊谷 健作君） 以上で本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（熊谷 健作君） 異議なしと認めます。したがって、本日はこれで散会することに決定しました。

これで散会します。御苦労さまでした。

午前11時17分散会

---